

I 事業の概要（地域の実情含む）

上野中学校区は、高台の閑静な住宅街に位置し、学区の北部に工業団地、西部に流通センター、南部に商店、教育・文化施設が建ち並ぶ商工業の盛んな地域に接しており、市外からの転入者も多い地域である。山や河川から離れているため自然災害については比較的 안전한地域である。また、地区の教育実践協議会を中心に「地域の一員としての自覚と地域への愛着」を育てる取り組みが行われ、児童生徒が地域の宝として大切にされている。このように安全な地域で大切に育てられている生徒の多くは、自然災害への備えや登下校時の安全の意識は決して高くない。

そこで、本校では、児童一人一人が、通学路の危険に気づき、自らの危険性を判断する力を育てたいという趣旨から「地域の安全」をテーマに、地域の方々や中学生と一緒に様々な活動に取り組むこととした。

II 取組の概要

1 親子ミニ安全マップ作り 【夏休み】

全校の取り組みとして、親子で自宅付近や通学路を実際に歩いて危険箇所を確認し、マップにまとめる親子ミニ安全マップ作りに取り組んだ。夏休み明けには、学級毎に自作のマップを見せ合いながら身近な危険箇所についての確認を行った。また、校内に集約して掲示したことで、異学年間での交流の場にもなった。親子・友達同士で安全について話し合ういい機会になった。



2 安全教室

【9月18日】

防災アドバイザー 岩手県立大学 宇佐美誠史准教授を招き、全校児童対象に「身の回りの安全と危険予測トレーニング」と題して安全教室を行った。身の回りには、交通安全ばかりではなく防犯や災害等の危険があることや、「いかのおすし」や「つみきおに」等のキーワードを通して、日頃から防犯意識を高めることの大切さを学んだ。また、交通事故などの事例に基づく危険箇所を画像で確認しながら、クイズ形式で危険予測トレーニングを行ったり、子ども110番の役割や不審者に遭遇してしまった際の駆けこみ方などについて、具体的な場面を想定させながら演習を行ったりするなど、児童は、安全教室を通して「危険回避・危険予測」の大切さに気付くことができた。

① 地域安全マップ作り

ア 上野中校区推進委員会

北上市役所において、関係機関（北上警察署、北上消防署、教育委員会、市役所地域づくり課など）に地域安全マップ作製の趣旨を説明し、協力を依頼した。

イ 事前学習

【9月24日】

3年生の児童を対象に、県立大宇佐美准教授による事前学習を行った。地域安全マップの作り方、フィールドワークで危険を探すポイント、フィールドワークの役割分担・記録のしかたなどについての講義を受けた。宇佐美先生が、実際の校区の地図や写真などを使って説明をしたことで、児童も教師も、具体的なイメージをもつことができ、今後の活動への意欲付けにもなった。

ウ フィールドワーク

【10月7日・8日】

両日、それぞれ10班ずつ実際に校区を歩いて危険箇所や子ども110番の



すフィールドワークを行った。児童は、安全教室や事前学習で学んだフィールドワークのポイントをもとに、意欲的に危険箇所を確認し合っていた。同行した大人は、児童の自主性を大切にしながら見守ってくださったが、児童が気付かない危険、例えば、犯罪が起ころうな場所・時間帯・交通量が多い交差点など、その場所で具体的に説明いただいたことで、児童の危険を判断する力が高められた。

2日目は雨降りの中であったが「晴れの日には見えない危険がある」と助言していただき予定通り実施した。傘をさすと見通しが悪くなることや視界が狭くなることなどに気付くことができ有効だった。

【児童 131 名、保護者 10 名、行政関係者 10 名、地域 25 名】



協力：学校防災アドバイザー、地域の見守り隊、民生児童委員、北上警察署、北上市役所、保護者

エ 地域安全マップ作り 【10月11日】

フィールドワーク参加した方々、上野中2年生にも協力いただき、確認した危険箇所やその理由についてカードに書き込む作業を行った。



年生にとって困難であったが、中学生が地図の見方や危険の種別を示すシール毎にカードを整理していく方法などを示すことで効率的に進めることができた。

【児童・生徒 151 名、保護者 7 名、行政関係者 2 名、地域 7 名】



<地域安全マップ完成>

協力：学校防災アドバイザー、地域の見守り隊、民生児童委員、上野中学校2年生、保護者

オ 発表交流会

【10月末】

フィールドワークのグループ毎にどんな危険があるか、どこに危険が多いか、注意する場所とその理由を発表し、どうやって身を守るかなどについて交流し合った。交流を進める中で、場所・地域によって危険箇所には違いがあることや、地図全体から見える共通点など、危険予測や、危険回避につながる気付きが多く、児童の安全意識の高まりを感じた。



3 実践発表 【11月20日】

ア 地域住民へ向けた発表・交流会

上野中学校区教育実践協議会が主催する「児童生徒と語る会」で、保護者や地域の様々な立場の参加者に向けて「地域安全マップ作り」の

取り組みについての発表を行った。その後の分科会では、地域の参加者と対話をしながら、防災に関する情報を共有するとともに、3年生なりの視点で、防犯についての意見を述べる事ができた。



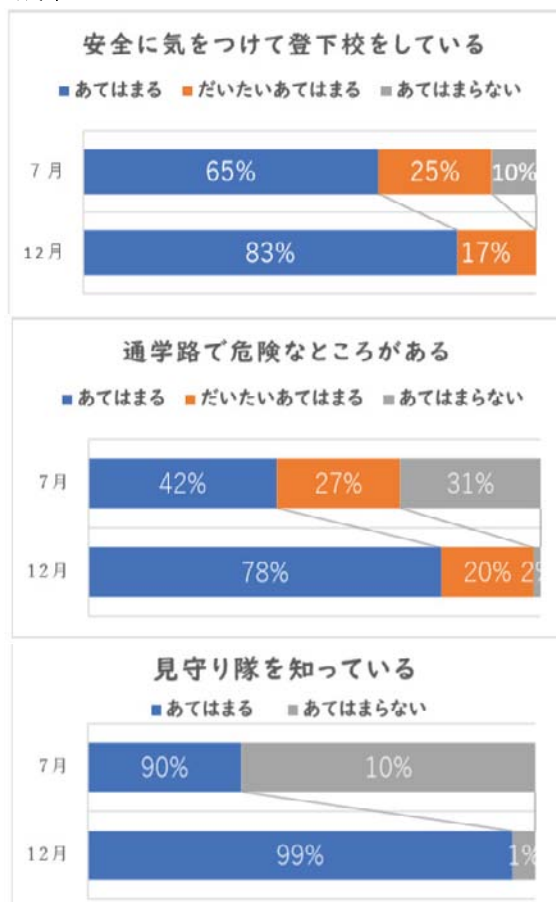
<発表の様子>



<防犯についての意見交流の様子>

Ⅲ 取組の成果と課題

1 成果



ア 防災アドバイザーの県立大宇佐美先生に、全ての活動に参加していただきご指導を受けたことで、取り組みの趣旨や活動のポイントが明確になり、児童も教師も見通しをもって取り組むことができた。

イ 児童が自分の目で危険箇所を確かめられたことで、自分の身を守るためにどのように行動すればよいかについて具体的に考えることができ、児童の安全に対する意識が高まった。

ウ 中学生・保護者・地域・関係機関との活動を通して地域のよさや温かさを知り、地域に支えられていることを実感し、感謝することができた。

2 課題

ア 活動を通して得た知識や身に付けた力を、実践に生かす安全指導を継続していく。

イ 来年度以降も取り組みを継続していくために、年間指導計画や指導内容の見直しを行う。

ウ 地域の特性に応じた持続的で発展的な生活安全等の取り組みを、学校、地域、関係機関などが一体となって進める体制を構築する。

【資料】児童の感想

夏休みミニ安全マップ作り・交流の感想

<児童>

・友達が、塀で車が見えなくて少しだけ車にあたったのを見たことがあるそうです。Kさんが、少し手前で確認してからゆっくり渡ったらいいと話してくれたので、それを生かして手を挙げて気を付けて渡りたいです。

<保護者>

・交差点や横断歩道などはすぐに思い浮かびますが、「コンビニの出入り口も危ない」ということは、普段歩いている子どもたちならではの気づきだと思いました。一緒に歩いてみて、改めて安全について親子で考えることができ、とてもいい機会でした。



安全教室感想

<児童>

・安全教室では、クイズをしながら楽しく勉強できました。特に「交通ルールを守れば事故にならない」で私は○を選んだけれど、正解は×でした。交通ルールを守らない人もいると知ったので気を付けたいです。

・子ども 110 番の家に駆け込んだら、不審者の性別や年齢、体の特徴、服装などを伝えることが分かりました。



フィールドワーク感想

<児童>

・子ども 110 番の家の人にインタビューをしました。お家の人が出てきてくれたので、安心してかけこめるなあと感じました。



・歩道がない道路が意外と多いことに気がきました。古い空き家があって「不審者が隠れているかもしれないよ」とおまわりさんから聞きました。近付かないようにしたいです。



<保護者・地域・関係機関の方の感想>

・真面目に取り組んでいました。地域の人と交流しながら危険箇所を把握する活動は、大変良いことだと思います。



・車では気付かない危険な場所がたくさんあり、私自身もいい確認になりました。地区の子どもたちとふれ合い楽しい時間でした。

・大人の危険と子どもの危険には違いがあり、たくさん発見させてもらいました。楽しく回ることができました。

・子ども 110 番の家への訪問で、高齢者が子どもたちを笑顔で迎え入れていた姿が印象的でした。このような活動を通して、学校と地域住民との関係を深めていくことはとても価値のあることだと思います。

安全マップづくりの感想

<児童>

・マップづくりは難しかったけれど、中学生のお兄さんお姉さんや M さんのお母さんが、分かりやすく優しく教えてくれたので、作業が楽しくなってきました。

・マップにまとめてみると、黒北小学区は広いと思いました。また、曲がり角はシールが多かったです。

・同じコースでも、シールの色やはってある場所、メモなどが違うということに気付きました。



<中学生>

・マップのシールの位置のずれ、シールの色や内容の修正などに時間がかかりました。マップづくりを通して、小さい子どもたちと地域の安全について考えることは大切だと実感しました。

・大きい地図を見て番号を確認したり、書いたカード



の間違いがないか確認したりするのが大変だったけれど、みんな「ありがとう」と言ってくれてうれしい気持ちになりました。

<保護者・地域の方>

・自分たちが歩いたコースを思い出して一生懸命マップ作りをしている姿に頼もしさを感じました。「危険な場所」を、フィールドワークの時より細かく話し合っているのがよかったと思います。



・地域・中学生・小学生と一緒に安全について考える機会をもつことができ、とても良かったと思います。今後、子どもたちが安全に気を付けて登下校ができるようになるといいですね。